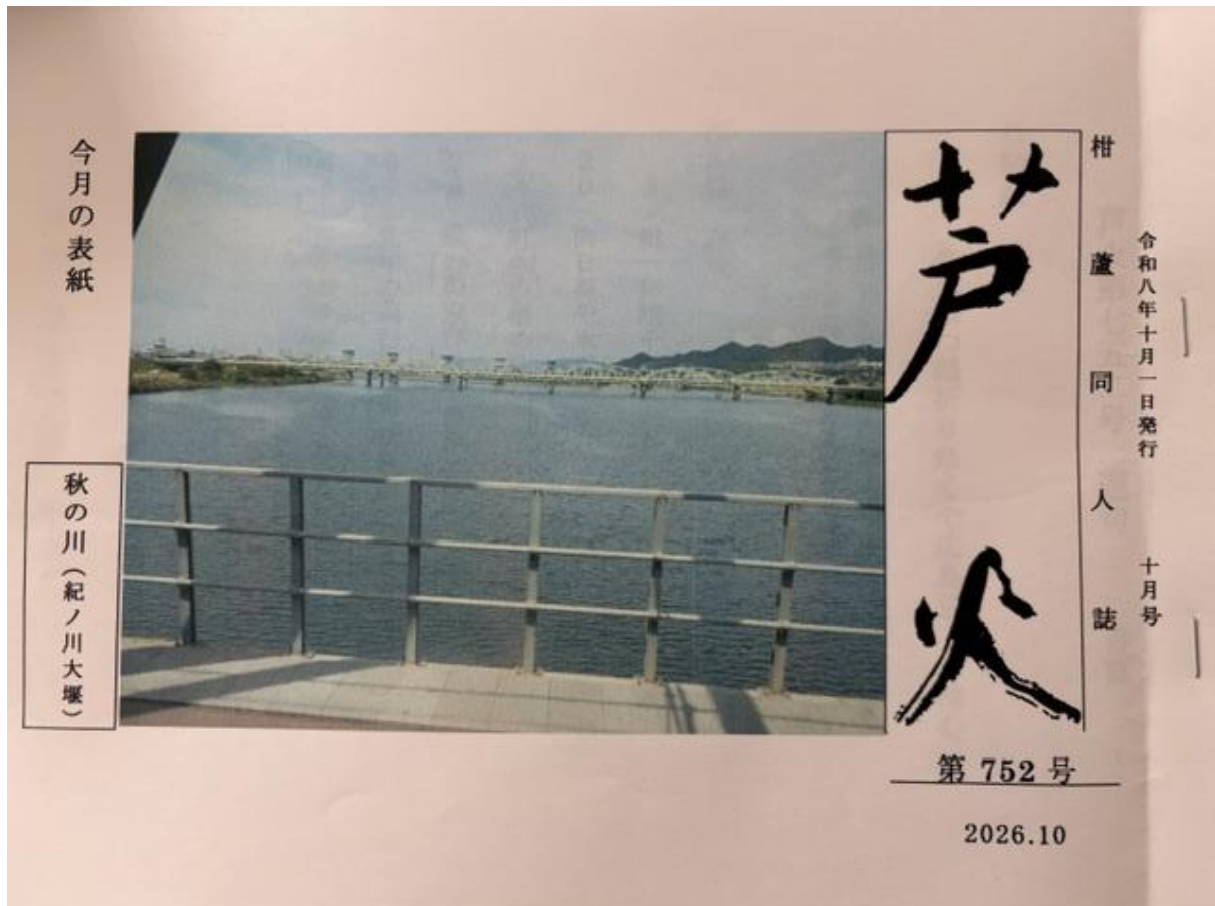


俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第752号（令和八年十月号）

・表紙：「秋の川（三秋・地理）（次月兼題）」



【季語】秋の川（三秋・地理）

【子季語】秋川／秋江／秋の江

【解説】

スナップ写真の前方の橋の向こうに等間隔に設置された突起物が見えますが、これが紀の川大堰です。洪水対策、河川環境の保全、農業用水・水道用水の安定確保のために設置されています。

なお、季語「秋の川」の水は澄んでひややかに見え、秋の青空や鰯雲をよく映して、秋の行方をあざやかに描きだします。紅葉の川、赤蜻蛉の飛ぶ川、落鮎を釣る川など、様々な情景があり、澄んで清らかにひややかに流れる川であります。

【有名俳人の句】

- ・物浸けて即ち水尾や秋の川／高浜虚子
- ・秋の川真白な石を拾ひけり／夏目漱石

- ・ 見るかぎり同じ速さの秋の川／山口誓子
- ・ 吾に近き波はいそげり秋の川／橋本多佳子
- ・ 少年が愛す窪地の秋の川／細見綾子
- ・ 秋の川首伸べて鳴く夕べの牛／広瀬直人

☆高得点者および高得点句

＊前月の清記表に記載された10名の50句のなかから互選の結果、以下の同人が高得点者となりました。併せて高得点句も掲載します。

<高得点者（敬称略）>

15点 恵吾、14点 穂心、11点 温州、9点 六甲

<高得点句（4点以上）>

◎4点以上の高得点句

- ・ あと幾つ鶴折りゆくや広島忌／穂心・・・7点
- ・ 田一杯蛙千匹夜の宴／六甲・・・6点
- ・ 十六夜や舳に白く割れる波／穂心・・・5点
- ・ 乳牛の潤む眼玉や秋暑し／恵吾・・・5点
- ・ 天の川荒波うねる日本海／恵吾・・・4点
- ・ 百才を目指す人生走馬灯／恵吾・・・4点
- ・ 風鈴や算盤塾の読み上げ算／勝・・・4点

☆特選句および選評

＊50句の中で特によかったと思った句に選評を付して各人が一句選びます。

特選句には2点のポイントが与えられますが、特選句が必ずしも高得点句になるとは限りません（高得点句になるには多くの同人の選句が必要です）。

なお、今回は同人十人全員がそれぞれ別個の句を特選句として選ばれています。

- ・ あと幾つ鶴折りゆくや広島忌／穂心・・・・・・1名の選
(選評)・戦後八十年、戦中知っている人も減っていく。「あと幾つ鶴折りゆくや」意味深長だ。
- ・ 廃校の小学校や百日紅／恵吾・・・・・・1名の選
(選評)・少子化故か、寂しいですね。でも、百日紅が励ましてくれているようです。
- ・ 田一杯蛙千匹夜の宴／六甲・・・・・・1名の選
(選評)・三段切れの句であるが状況が良く判る。会社の旅行で昔の淡路島の農家の民宿に泊まった夜はまさにこの句の通りであった。
- ・ 百日紅目標高く掲げたる／甲舟・・・・・・1名の選
(選評)・この年になって、なお高い目標を掲げて色んなことに挑戦しようとする心意気に喝采いたします。
- ・ 向日葵や水平線の白き雲／温州・・・・・・1名の選
(選評)・黄色・白・水平線の青とコントラストが見事。

- ・動く物無きグラウンド百日紅／碧亥・・・・・・・・・・1名の選
(選評)・人も動物も全くいない中で、百日紅だけが存在している情景が目には浮かび、静けさと暑さのみが伝わってきます。リズム感も素晴らしい句です。
- ・天の川荒波うねる日本海／恵吾・・・・・・・・・・1名の選
(選評)・芭蕉の名句「荒海や佐渡に横たふ天の川」を彷彿とさせます。
- ・風鈴や算盤塾の読上げ算／勝・・・・・・・・・・1名の選
(選評)・算盤塾に集う子ども達に、緊張が走る。四方あげ算に一心不乱に指を動かす。そこへ「チリリン」と風鈴の音。優しい句。
- ・夕立も去りて届くや友の文／六甲・・・・・・・・・・1名の選
(選評)・夕立ちが去ってから友の文が届くという一連の流れが鮮やかで、また、現実でありそうなリアリティも感じる一句です。
- ・毎昼時声を潜める蟬時雨／碧亥・・・・・・・・・・1名の選
(選評)・気づきですね！午前中の比較的過ごしやすい時間帯が、セミの鳴く時間で、真昼は鳴いていません。中七に暑さを感じます。

☆その他のトピックス

1. 今月号の清記

◎今月は10名の方が合計50句を出句されました。

2. 近況報告等

- ① 勝様：この度震度5強の地震のあった熊本にお住まいです。
地震あとの被災地にボランティアの方々に来ていただき、暑い中頑張ってもらいます。本当に頭の下がる思いです。
インフラも少しずつ整い始めました。まだまだ不自由な生活をせざるを得ない人々が、「普通の生活が一番幸せだと」口にされております。
- ② 要様：NHK 短歌に二首が佳作に選ばれたそうです。
・新居へと姉送り出す駅頭に
雪をまといつゝ列車帰りに来
・親も家もうないものと思う身よ
十年ぶりに退院すれば
要様、おめでとうございます！
- ③ 碧亥様：夫婦そろっての病院通いが増えましたが、曾孫達に励まされて頑張っています。
- ④ 温州：柑芦会公式フェイスブックに『芦火』の活動のおしらせ』を掲載した旨報告させて頂きました。

＜俳句の会「芦火」概要＞

- ・ 会員は柑芦会会員
- ・ 現在の会員は大学3期卒から25期卒の11名
- ・ 昭和38年（1963年）結成・・・約60年の歴史
- ・ 会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・ 創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・ 50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・ 創刊時からの延べ会員数、72名（高商32名、高商教授1名、大学39名）

＜編集者・コンタクト先および会費＞

- ・ 編集者：穂永 千秋（大学17期）（俳号：穂心）
メルアド：suishin2010@dream.ocn.ne.jp／携帯：090-9887-2513
- ・ その他のコンタクト先:
 - ・ 山下 勝（大学14期・前編集者）（俳号：勝）
メルアド：yama723@nifty.com／携帯：090-1349-6727
 - ・ 平林 義康（大学20期）（俳号：温州）
メルアド：hirabayashi9497@yahoo.co.jp／携帯：090-8525-7293
- ・ 会費：年会費1万2千円

以上
(文責：平林 温州)